

◎ 会員だより

6月号で技術士（総合技術監理部門）の「技術資格合格体験記」を拝見し、試験について分かりやすく書いてあり、技術者としての更なる資質向上のために受験準備を始めたいと強く思いました。私も昨年度に上下水道部門を取得したので、今後機会があれば体験記を書いてみたいと思いました。
匿名希望（市町村勤務、40）

今は違う部署に就いているが、昔は、都市計画などの地域活性化に関わる業務に携わりたかったので、5月号の「特集（地域活性化の推進）」はとても関心深く各記事を読むことができました。いろいろな地域の取組みがわかり、とても勉強になりました。
匿名希望（高速道路会社勤務）

6月号「新技術レポート」の沼田土建のi-Conを推進する上での理解促進のための社内研修や若手技術者にとっての「やりがい創出」などの取組みはとても感銘を受けました。
匿名希望

5月号の「災害査定留意点」は、実際に応急工事の査定を申請する場合の留意点や具体的な査定事例が紹介されており、非常に参考になりました。
匿名希望（都道府県勤務、45）

6月号「寄稿」の「道路ビジョン「2040年、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～」」を読んで、現在、西日本豪雨災害の復旧関連業務で多忙なので、つい目先の業務に追われています。この記事を読んで道路技術者としての使命を再認識できた気づきの記事でした。
匿名希望（都道府県勤務、56）

近年各地で甚大な水害が発生しています。6月号「表紙」の千曲川の堤防決壊の写真を見て衝撃を受けたと同時に、土木技術者として責任の重さを痛感しました。
匿名希望（市町村勤務）

6月号の「会計検査の指摘事例とその解説」の落石防護柵の設計については、私自身も受検したことがあったので興味深く読ませていただきました。業務にも役立つ内容が多いので毎月楽しみにしています。
匿名希望

6月号「特集（災害に強い安全な国土づくり）」は、国土交通省が実施する防災・減災プロジェクトの取組みがとてもわかりやすく紹介されており、大変勉強になりました。この経験や教訓から得た「現場力」を次世代の技術者に継承していくことが必要だと感じました。
匿名希望

「事例から学ぶ現場力の向上」は、よくありそうな工事での失敗事例の原因や教訓などが図を入れながら解説されていて、事業を進める上で、重要な気づきとなることがあります。
倉知 利宜（市町村勤務、49）

台風到来シーズンを目の前に控えたこの時期に「災害に強い安全な国土づくり」の特集を読めたので、自分の市が被災した時にどう動けば良いか、再認識できました。
匿名希望

「建設技術者のためのこの一冊」の連載は、自分では考えつかない視点で作品を考察しており、大変参考になります。幅広い作品の紹介を今後も期待しています。
匿名希望（市町村勤務、29）

6月号「特集」の「市町村の街づくり計画にあわせた津波避難誘導デッキ」は平成25年に私が災害派遣されていた宮古水産センターの事業で、当時の復興と防災対策に頼もしく感じました。
今川 文（都道府県勤務）

月刊「建設」を読んでいつも勉強させて頂いています。いつか自分も月刊「建設」に寄稿できるように、日々精進します。
渋井 侑典（市町村勤務、31）

6月号の大石会長の「上徳不徳（日本政府・政府とコロナウイルスショック）」を拝読しました。防災のためのインフラと同じで、医療制度の弱体化や所得の減少などは、すべて財政再建至上主義で必要な投資をしてこなかったことが原因と再認識しました。
匿名希望（都道府県勤務、40）

現役を引退し、現在特別会員ですが、月刊「建設」は国土交通行政の取り組み等がコンパクトにまとめられており、非常にわかりやすく、届くのが楽しみです。
匿名希望（元都道府県勤務、64）

6月号「諸外国のインフラ情報（世界の視点から予定価格制度を考える）」を読んで、日本のような入札制度を導入している国は希であることがわかりました。発注者側の積算は、精神的負担が大きいと思うので、他国に学ぶのもよいかと思えます。
匿名希望

公務員技術者にとって技術力向上の貴重な場である建設技術講習会や実地研修会がコロナの影響で中止になり残念です。代替えとなる企画は難しいでしょうか。
匿名希望（市町村勤務）

コロナ禍の影響で今年度入庁した職員の教育が予定通り進んでいないことが心配です。今後、我々先輩職員がしっかりサポートしていかなければならないと思っています。
匿名希望（都道府県勤務、47）

◎ 「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail:kensetsu@zenken.com

